

△ 再作成

適用規格					
定 格	使用温度範囲 ¹⁾	-55 °C ~ +85 °C (95 %RH以下)	保存温度範囲 ¹⁾	-55 °C ~ +50 °C (95 %RH以下)	
	電 力	- W	特性インピーダンス	75 Ω (0 ~ 3 GHz) ¹⁾	
	特 殊 性	-	使用ケーブル	1.5C-QEW・CW(フジクラ)	
性 能					
	項 目	試 験 方 法	規 格	QT	AT
構 造	外観, 構造, 仕上げ	目視, 寸法測定器にて測定する。	図面と合致していること。	○	○
	表 示	目視にて確認する。		-	-
電 氣 的 性 能	接 触 抵 抗	100 mA(DC or 1000 Hz) 以下で測定する。	中心コネクタ 6 mΩ 以下	○	○
			外部コネクタ 6 mΩ 以下	○	○
	絶 縁 抵 抗	DC 500 Vで測定する。	1000 MΩ 以上	○	○
	耐 電 圧	AC 500 Vの電圧を 60 秒間印加する。 (漏洩電流 2 mA以下)	絶縁破壊がないこと。	○	○
	電 圧 定 在 波 比 ¹⁾	周波数 0 ~ 1 GHzにて測定する。 周波数 1 ~ 3 GHzにて測定する。	VSWR 1.2 以下 VSWR 1.3 以下	○	-
	挿 入 損 失	周波数 - ~ - GHzにて測定する。	- dB以下	-	-
機 械 的 性 能	単 体 挿 抜 力	φ - の鋼製ピンで測定する。	挿入力 - N以下 引抜力 - N以上	-	-
	総 合 挿 抜 力	適合コネクタで測定する。	挿入力 - N以下 引抜力 9.8 N以上	-	-
	繰 り 返 し 動 作	500 回の抜き差しを行う。	①接触抵抗: 中心コネクタ 11 mΩ 以下 外部コネクタ 11 mΩ 以下 ②破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	-
	耐 振 性	周波数 10 ~ 500 Hz, 片振幅 0.75 mm, 加速度 98 m/s ² で 3 軸方向各 10 サイクル 試験する。	① 1 μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	-
	耐 衝 撃 性	加速度 490 m/s ² , 持続時間 11 ms, 正弦半波 3 軸方向各 3 回試験する。		○	-
	ケーブルクランプ部の 引 張 り 強 度	30 mm/分でケーブル軸をケーブル抜け, 断線が 発生するまで引張り、最大荷重を確認する。	最大荷重 49 N以上	○	-
環 境 的 性 能	温湿度サイクルの 耐 湿 性	温度 +25 ~ +65 °C, 湿度 80 ~ 96 %中に 10 サイクル(240 時間) 放置する。	①絶縁抵抗: 100 MΩ 以上(高湿時) ②絶縁抵抗: 1000 MΩ 以上(乾燥時) ③破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	-
	温 度 サ イ ク ル	温度 -55 → - → +85 → - °C 時間 30 → 3 → 30 → 3 分を 5 サイクル試験する。	破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	-
	塩 水 噴 霧 ¹⁾	濃度 5 %の塩水, 48 時間放置する。	VSWR 1.2 以下(周波数: 0 ~ 1 GHz時) VSWR 1.3 以下(周波数: 1 ~ 3 GHz時)	○	-
	△の数	訂正記事	設計	検図	年月日
¹⁾	4	DIS-D-00017391	NK. OOSAWA	NK. NINOMIYA	20240119
備考 注 ¹⁾ 温度範囲規格はケーブルの温度範囲によります。			承 認	I.J. MITANI	20060207
			検 図	KY. SHIMIZU	20060206
			担 当	TO. KATAYAMA	20060206
			製 図	YK. SUGIYAMA	20060131
試験規格の記載のない試験方法はIEC 60512(対応規格JIS C 5402)を適用している。					
注 QT: 確認試験 AT: 製品検査 ○: 適用項目			図 番	SLC-029387-40-40	
HRS	製 品 規 格 表		製 品 名	PL71-LP-1.5CW (40)	
	ヒロセ電機株式会社		製品コード	CL0334-0006-9-40	¹⁾ 1/1